

《挑戦！まつだマイスター検定》

平成28年1月に、松田・寄合併60周年記念レースが川崎競馬場で行われました。この時に開催された、桜まつりをPRしたレースの名前は、何でしょうか（答えは次号）。

本山町長インタビュー

- Q 町が今、一番力を入れていることは？
- A 少子高齢化による人口減少に歯止めをかけ、人口1万人を維持するために、福祉の充実や賑わい・雇用の創出、子育てや住宅環境の整備などに力を入れています。
- Q 今後のまちづくりで大事にしたいことは？
- A キーワードは「協働」「誇り・継承」「人づくり」です。やはり町民の皆さんとの協働は欠かせません。また、町の持つ自然環境や歴史・文化に誇りを持ち、次世代へ継承していくために、教育などを通じて人材を育てていくことを大事にして参ります。
- Q どんな総合計画にしますか？
- A 第一に町民の皆さんにとって分かりやすいこと。そして8年かければここまでできる！と感じてもらい、町民が主役で連携・協力してもらえる計画にします。

総合計画は松田町の進路を示す“羅針盤”です

XX年後の松田町はようになる？

このままでは...

厚生労働省に所属する国立の研究機関である、国立社会保障・人口問題研究所が平成25年3月に推計した「日本の地域別将来推計人口」によれば、町の総人口は2040年に約7千人となり、現在の約1万1千人から4千人も減少するとされています。さらに少子・高齢化の進行により、高齢者1人を現役世代1.1人で支える時代がやってきます。

このため...

子育て世代の定住化対策として、住宅の整備や保育・教育環境の整備に取り組むとともに、いつまでも健康で安心して暮らせるための福祉の充実、賑わいや魅力向上に向けたまちづくりなどに取り組んでいます。

協働



誇り・継承



まちづくりのキーワード

人づくり



町の将来像を決める

総合計画とは？

総合計画は行政の作る最上位の計画です。社会情勢や長期的な人口予測のもと、まちの将来像や方向性を決め、その実現に向けて、自然・景観、都市基盤、生活環境、健康・福祉、教育・文化、産業、行財政、自治などの分野ごとに、目標や必要な取組、達成すべき指標などを掲げ、町全体で取り組む計画です。

いつ、なにをするの？

計画の期間や内容は？

第6次となる松田町総合計画は2019年度から2026年度の8年間を計画期間とする、基本構想とアクションプログラムの2本立ての計画です。基本構想は、8年後、さらにその先を見据えた町の将来像や土地利用の方針を示します。アクションプログラムは、計画期間を前期・後期に分け、前期4年間の分野ごとの具体的な目標や取組を定めます。

新しい総合計画を策定します

計画期間：2019年度～2026年度

スタートアップお知らせ号

【問い合わせ】政策推進課 経営戦略係 ☎(83)1222

ワークショップの開催

こんな松田町になったらいいな、こんなことをしてみたいなど、みんなで語り合いませんか

「みんなで考える 松田の未来とプロジェクト」というテーマで、老若男女を問わず、テーブルを囲んで語りあい、未来の松田町に対する思いや夢、みんなで実現したいことなどを具体的なかたちにするワークショップを開催します。(内容や募集などの詳細は別途お知らせします)

アンケートの実施

現在の暮らしのようすやこれからのまちづくりのことなど、みなさんの思いをお伺いします

町のこれまでの取り組みを町民の皆さんがどう評価しているか、これからの町政に何を望み期待しているのかを把握し計画策定に活かすため、満16歳以上の町民3000人を対象にアンケート調査を実施します。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

みんなの“思い”がたくさん詰まった計画に!



↓ 今後のおおまかな計画策定の流れは以下の通りです

基礎的調査

- ・各種データの分析
- ・施策事業の調査

アンケートの実施

ワークショップの開催

基本構想の策定

アクションプログラムの策定

パブリックコメントの実施

計画決定

START!

2017▶ 2018▶ 2019.4